

2018年8月28日

## 九州新幹線へのスマートデバイス導入について

JR九州では、安全性の向上、お客さまサービスの向上、異常時の運転再開迅速化、検査効率の向上等を目的に、鉄道事業の各部門において、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット）の導入を進めておりますが、この度、九州新幹線の現場等への導入を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

### ➤ 九州新幹線の現場等へスマートデバイスを導入します

<導入時期> 2018年9月1日以降順次スマートデバイスを各箇所に配備し、10月1日より使用を開始します。

<導入対象> 九州新幹線の車掌、運転士、車両担当、工務担当、指令員

<導入端末> 車掌 : スマートフォン (iPhone 8 Plus)  
運転士 : タブレット (iPad)  
車両担当 : スマートフォン (iPhone 8 Plus)  
工務担当 : タブレット (iPad)  
指令員 : タブレット (iPad)

<導入による効果>

- 安全性の向上
  - ・ 車両故障、災害、その他異常時において、現場の写真・映像等を乗務員等と指令員で共有し、対応力を強化します。
- 異常時対応の迅速化
  - ・ 各種資料（規程・マニュアル等）の電子化により、異常時対応の迅速化を図ります。
- お客さまサービスの向上
  - ・ お客さまからの乗換に関するお問い合わせに迅速に対応します。
  - ・ 翻訳アプリの活用により、訪日外国人のお客さまへの対応力の向上を図ります。
  - ・ 筆談アプリの活用により、聴覚に障害のあるお客さまに安心してご利用いただけるようご案内の向上を図ります。

※ iPhone、iPadはApple Inc.の登録商標です。